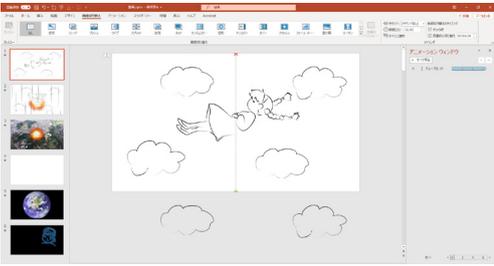
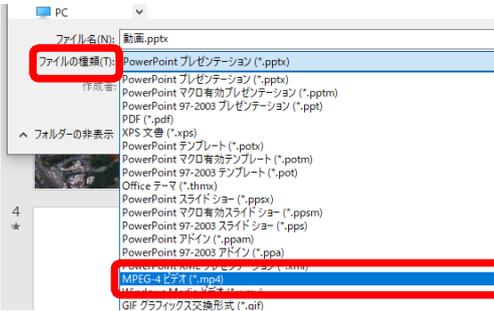
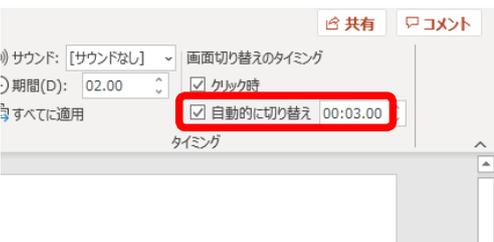
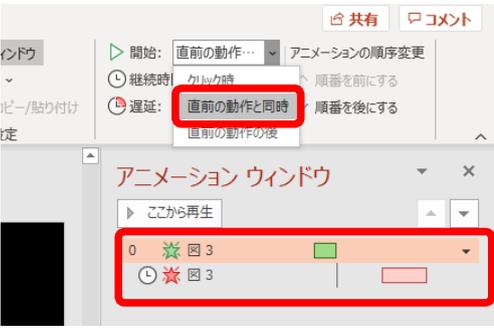




動画書き出し

このマニュアルは PowerPoint Office 365 バージョン 1910 で書かれています

1		動画にしたいスライドを作り、保存しておきます。
2		「F12」キーで「コピーを保存」にします。 「ファイルの種類」は普通なら「PowerPoint プレゼンテーション (*.pptx)」ですが、これを「MPEG-4 ビデオ (*.mp4)」にして「保存」。
3		画面の下の方に「ビデオ ○○.mp4 を作成中」というバーが出ます。バーがいっぱいになったら、動画書き出しの完了です。

補足		スライドは「画面切り替え」の「自動的に切り替え」にチェックを入れて、秒数を設定しておきます。「自動的に切り替え」にチェックが入ってない状態で書き出すと、デフォルトではスライド1枚5秒で進んでいきます。「スライドショー」→「リハーサル」でスライドを切り替えるタイミングを保存して使ってもいいです。
		アニメーションは開始を「クリック時」にすると、動画に書き出したときは2秒程度の間があってアニメーションが始まります。「直前の動作と同時」や「直前の動作の後」を使いましょう。なお、「リハーサル」でタイミングを保存してある場合は、「クリック時」でもそのタイミングで動画に書き出されます。



デフォルトでは、「1920 × 1080」のサイズですが、「ファイル」→「エクスポート」→「ビデオの作成」で、いくつかのサイズから選ぶことができます。また、各スライドのデフォルトの所要時間を 5 秒以外にすることもできます。